

北方町新水道ビジョン(上水道事業の将来計画)〔概要版〕

策定の趣旨

将来的な人口減少、老朽施設の増加に伴う更新需要の増大や大規模自然災害対策、ポストコロナ社会への転換など、事業環境への変化を前提とした新たな課題に対応できるよう、水需要の将来見通しを踏まえ、老朽度や重要度を考慮した施設整備計画の反映、アセットマネジメント手法の活用による中長期的な財政収支検討を行い、事業の将来像を掲げ、基本方針や実現方策を示した「北方町新水道ビジョン」を策定するものです。

位置付け

町の全体計画である「北方町第7次総合計画」を上位計画とし、その上水道部門計画として位置付けるとともに、国の「新水道ビジョン」の基本理念「安全」「強靱」「持続」を踏まえ「北方町新水道ビジョン」を策定します。厚生労働省の「新水道ビジョン」の策定方針に基づき、50年後、100年後の将来像を展望し、10年間(令和15年度まで)の本町上水道事業の中長期的な事業運営の指針を定めた根幹となる計画として位置付けます。

基本目標

～安全～

安全で安心な水の供給

～強靱～

地震に強い水道システムの構築

～持続～

健全かつ安定的な水道経営

課題と基本方針

安全

〈課題〉

- 良好な水源水質の維持
- 水質検査精度の維持と信頼性の確保
- 配水池内の水質保全

〈基本方針〉

- 水質の保全

強靱

〈課題〉

- 基幹管路の耐震化
- 老朽化が進む管路の更新
- 地震などの災害時における生活用水等の応急給水の確保

〈基本方針〉

- 管路の耐震化
- 水道施設・管路の更新

持続

〈課題〉

- 経営戦略による中長期的な投資・財政計画の策定、見直し
- 将来の水需要を見据えた適正な施設規模への変更
- 効率的な施設運用による使用電力の削減
- 有収率向上のための方策検討
- お客様の利便性の向上

〈基本方針〉

- 経営基盤の強化
- 資源・エネルギーの有効利用
- お客様サービスの向上

実現方策

安全

～安全で安心な水の供給～

井戸・配水池等の点検整備の強化

井戸調査を計画的に行い、井戸の老朽化などの原因により水源地の保全に支障となる可能性が高い施設においては、洗浄や改修を行います。配水池内部の点検や清掃を計画的に行い、経年劣化が見られる施設の内面補修などを実施し、安全な水の供給を図ります。

水質検査の精度管理の向上

水質検査の常時監視を行い、水質検査の正確性、信頼性の確保、分析技術の向上に努め、精度の高い検査体制の維持を図ります。

水質管理の強化

水源から給水栓までの水の流れにおいて発生が予想されるリスクを想定し、リスクの発生頻度と影響程度を把握し、監視方法や管理基準を設定し、管理基準を逸脱した場合の対応方法を整理し迅速な対応を図ります。

強靱

～地震に強い水道システムの構築～

管路の耐震化

本町はこれまで、水道施設の耐震化を推進しており、水源地の管理棟及び配水池については耐震化済みとなっています。

管路については、基幹管路や北方町地域防災計画で定めた災害時において給水が特に必要な重要給水施設に水を供給する管路について、優先的に耐震化を進めます。

老朽化した水道施設・管路の更新

今後、更新時期を迎える老朽化施設の増加が見込まれるため、優先順位を設定し計画的な更新を図ります。また、管路の更新率を図ると共に、更新時には耐用年数の長い、ダクタイル鑄鉄管GX形及び配水用ポリエチレン等の採用やポリエチレンスリーブでの外面保護により、長寿命化を図ります。

持続

～健全かつ安定的な水道経営～

アセットマネジメント手法による資産管理

計画的な更新と必要な財源の確保について、アセットマネジメント手法を用いた適正な資産管理を図ります。

老朽管の更新、漏水調査の強化による有収率の向上

漏水調査を計画的に行い、漏水が多発している箇所を重点的に布設替えし、有収率の向上を図ります。

広域化・共同化の検討

水道事業のあり方や広域化に関する協議に積極的に参加し、経営、技術の両面にわたる近隣水道事業者との連携について研究・検討を進めていきます。

使用電力の削減、省エネルギー機器の採用

水需要に応じた適正な能力の機器を選定すると共に、経済性を考慮した省エネルギー機器を採用し、電力使用量の抑制を図ります。

廃棄物の排出抑制、建設副産物のリサイクル推進

管路更新時は更生工法を採用するなど、廃棄物の排出抑制に努めます。また、建設発生土等の建設副産物のリサイクルの促進を図り、資源の有効利用を図ります。

水道サービスの充実

ホームページ上で水道事業などの積極的な情報発信、窓口サービスの向上、水道料金収納時の利便性の向上を図ります。